浴室換気乾燥暖房機
（脱衣室取付可）

高須産業株式会社

工事説明書

販売事業者・工事事業者さま用

品番　BF-961RGC　換気扇連動タイプ(AC100V)
（壁面取付タイプ）

2209F

設置工事を始める前に必ずこの工事説明書をお読みください。
設置工事は販売店様、または専門の工事店様が実施してください。

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限(内装材の制限・可燃物との距離の制限など)がありますので、詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。

■設置工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認し、お客様に使用方法・お手入れ方法を説明してください。
■この工事説明書は設置完了後、別添付の取扱説明書と共に必ずお客様にお渡しください。
■脱衣室への取り付けも可能です。だだし、可燃物との距離を確保してください。(P5参照)
■必ず既存の換気扇と連動してください。

もくじ

製品に関するお願い・・・・・・・・・・・・・・・・2
安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・2～4
取り付けのご注意・・・・・・・・・・・・・・・・5
外形寸法と各部の名称・・・・・・・・・・・・6～7
取り付け前の準備・・・・・・・・・・・・・8～10
本体の取り付け・・・・・・・・・・・・・・10～11
電気工事・・・・・・・・・・・・・・・・11～12
リモコンの取り付け・・・・・・・・・・・・・・13
試運転・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
ランドリーパイプの取り付け・・・・・・・・・・14
異常表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
各種設定変更のしかた・・・・・・・・・・15～16

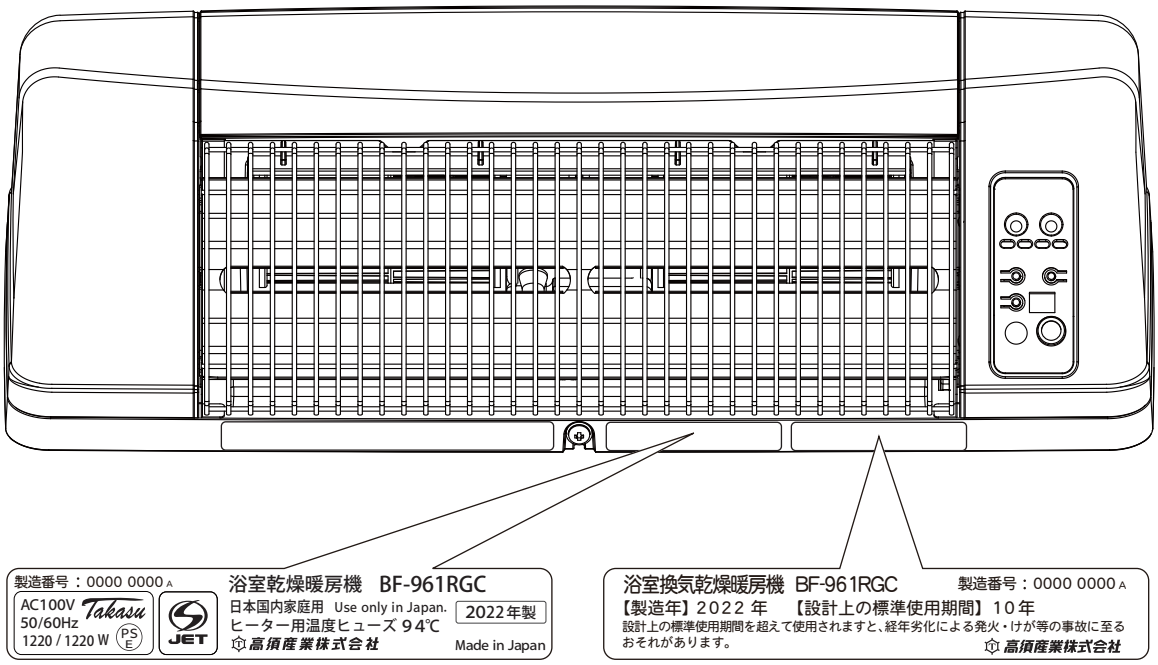
製品に関するお願い

【工事店様へ】

1)本体に【定格シール】・【表示制度シール】がちゃんと貼られているか確認をお願い致します。

2)設置工事が完了しましたら、取扱説明書と共にこの工事説明書を販売事業者様または所有者様(賃貸業者様)へお渡しください。

【機器本体表示位置】



安全上のご注意 (必ずお守りください)

■取り付けの前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全に取り付けてください。
■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しております。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示(例)で区分し説明しています。

⚠	⚠ 記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。
⃠	⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容(左図の場合は一般的な禁止)が描かれています。
❗	❗ 記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中には具体的な注意内容(左図の場合は一般的な強制)が描かれています。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告

❗	**仕様変更・改造は絶対にしない** 火災・感電・けがの原因になります。
🚫	**配線工事・電源接続工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「電気工事士」が行う** 誤った配線工事は、漏電・感電や火災のおそれがあります。
❗	**配線コードにより線は絶対に使用しない** 漏電・感電や火災のおそれがあります。
🚫	**壁面以外の場所には取り付けしない（天井取付専用の換気乾燥暖房機です。）** 感電・火災・故障の原因や法規制に適合しないことがあります。
❗	**取り付けは、お買い上げの工事店または専門業者に依頼し確実に行う** ご自分で取付工事をされ不備があると感電や火災・落下の原因になります。
🚫	**修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理は行わない** 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
❗	**メタルラス張り・ワイヤラス張り・または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトや、取付ベース板固定ねじが電気的に接触しないよう取り付ける。** 漏電した場合発火することがあります。
⏚	**アース工事は必ず「電気工事士」によるD種（第三種）接地工事を行い、漏電遮断器を設置する（分電盤にあればよい）** アースを取らないと故障や漏電のときに感電することがあります。
🚫	**内釜式風呂を据付けた浴室では使用しない** 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこすことがあります。
🚫	**運転中に本体から異常や異臭が感じられたら、使用を中止し分電盤のブレーカーを切る** 異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になることがあります。
🚫	**単相交流100V以外では使用しない** 火災や感電の原因になります。
🚫	**有機溶剤やスプレーを本体の近くに置かない** 爆発や故障の原因になります。
🚫	**コンセントおよび換気扇用のスイッチは絶対に使用しない** 漏電・感電や火災のおそれがあります。
🚫	**本体やリモコンに直接水やお湯・カビ取り剤などをかけない** 故障や感電することがあります。
🚫	**リモコンは、床や浴槽に落とさない** 故障の原因になります。
❗	**ヒーターの熱を直接受ける場所に造営物が無い事を確認する（50cm以上離す）** 火災や故障・変形や変色・変質の原因になります。
❗	**本体電源コードは確実に接続する** 不確実な接続をすると過熱し、火災のおそれがあります。

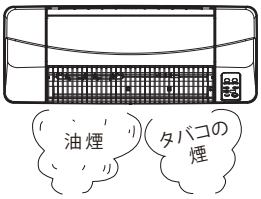
⚠ 注意

❗	**取付作業時には、必ず手袋をはめて行う** 板金部品などの切り口や本体の突起・角などでけがをすることがあります。
❗	**本体の設置工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う。** 落下により、けがをするおそれがあります。
❗	**本体の取り付けは本紙「取り付けのご注意」を守る。** 火災のおそれがあります。
❗	**洗濯物はヒーターから50cm以上離す。** ヒーターに近づけ過ぎると、火災や故障・衣類の変色や変質の原因になります。
❗	**部品の取り付けは確実に行う。** 落下により、けがをするおそれがあります。
🚫	**強い振動や衝撃を与えない。** ヒーターが破損し、感電やガラス破片によりけがの原因になります。

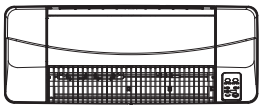
安全上のご注意（つづき）

■取付場所について下記の点にご注意ください。

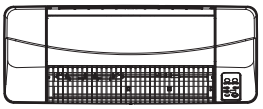
■油煙・タバコの煙の多い場所で使わないでください。
破損・故障の原因になります。



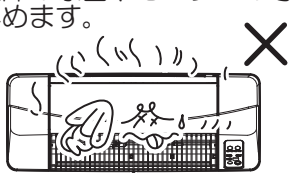
■有機溶剤を使う場所で使わないでください。
故障の原因になります。



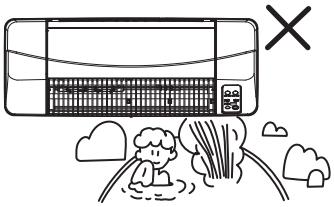
■スプレーを使う場所で使わないでください。
故障の原因になります。



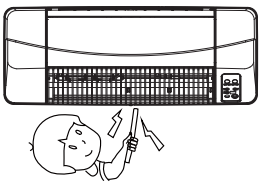
■付近の温度が40℃以上になる場所への設置はさけてください。
故障の原因やモーターの寿命を早めます。



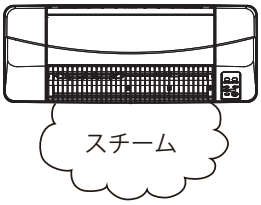
■温泉で使わないでください。
故障の原因になります。



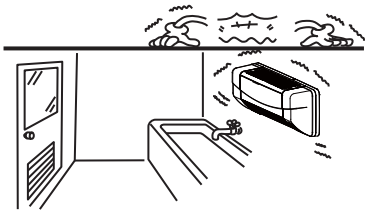
■ヒーターを棒などで触らないでください。
破損の原因になります。



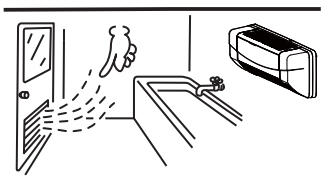
■スチームサウナ付きの浴室に取り付けないでください。
故障の原因になります。



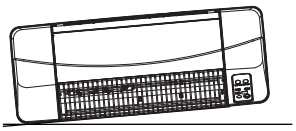
■しっかりと取り付けてください。
騒音・振動の原因になります。



■給気口を設けてください。
有効開口面積100cm²以上
（効果的な換気ができません）



■本体が傾かないよう水平に設置してください。
部品の寿命を早めたり、故障の原因になります。



■電源は必ず分電盤のブレーカーに接続してください。

■スチームサウナ・ミストサウナ付の浴室に取り付けないでください。
故障の原因になります。

■ユニットバス以外および下記の浴室では室温が上昇しない場合があります。
①窓が大きいとき
②浴室の容積が大きいとき
③タイル貼りの面積が大きいとき
④その他浴室の密閉性や断熱性が悪いとき

取り付けのご注意

■製品の取り付けには、下図のような規制を受けますのでご確認ください。

(地域によっては、火災予防条例にもとづく指導が異なる場合がありますので、行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください)

■機密性や断熱性が悪い浴室では、性能が十分発揮できない場合があります。
とくにモルタル・タイル壁・窓が大きいなどの在来工法の浴室は、ユニットバスに比べ断熱性能が著しく低い場合が有り室温が上昇しにくくなります。
したがってユニットバスへの設置の場合と比べ性能が大きく劣ることがあります。

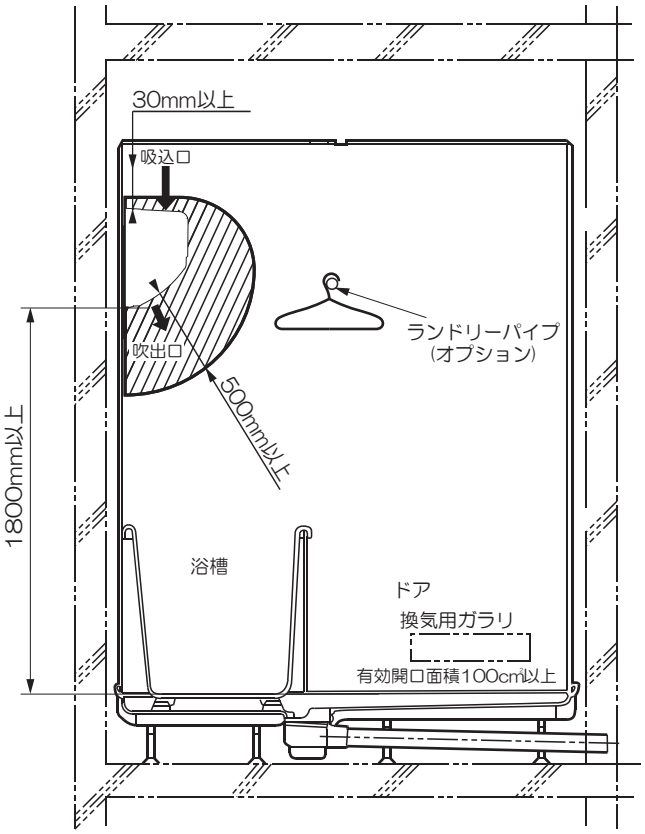
在来工法の浴室に設置の場合には、お客様に十分ご説明ください。

①機器本体
設置場所は浴室・脱衣室等の壁面に限ること。
天井には取り付けしないでください。

②取り付け
本体は壁面に堅固に取り付けること。

③造営材等を設けない範囲
本体の温風吹出口の前方500mm未満・空気吸込口の30mm未満の範囲内には、造営材など(乾燥する衣類・照明器具・手すりを含む)を設けないこと。

④漏電遮断器
漏電遮断器を設けること。
(分電盤にあればよい)

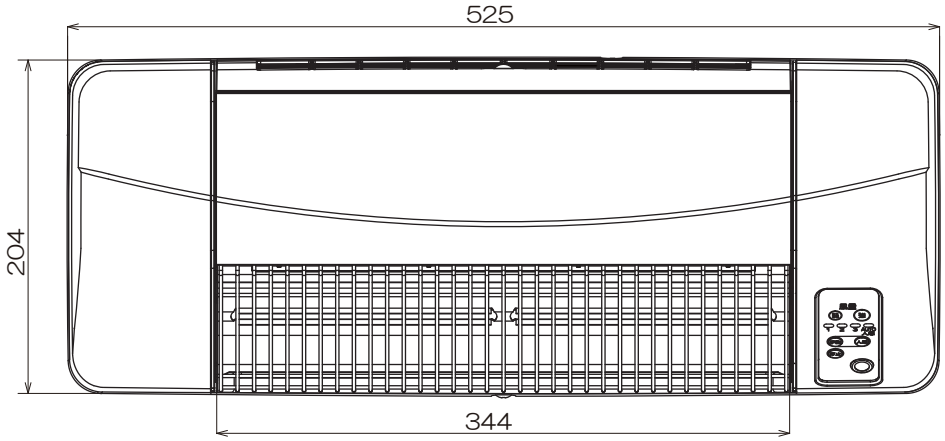


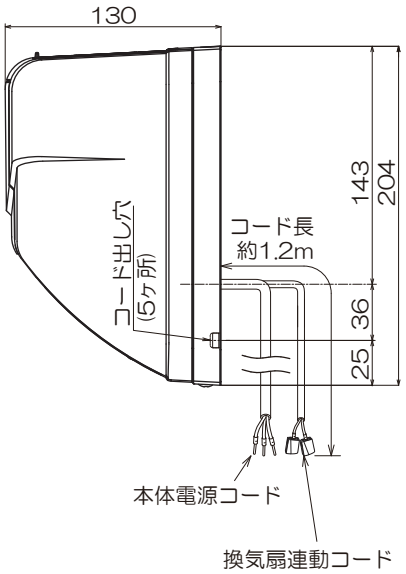
■この浴室換気乾燥暖房機の質量は約3.5kgあります。
据え付ける壁面が十分に強度のあることを確認してください。
状況によっては補強や追加の部材が必要になることがあります。

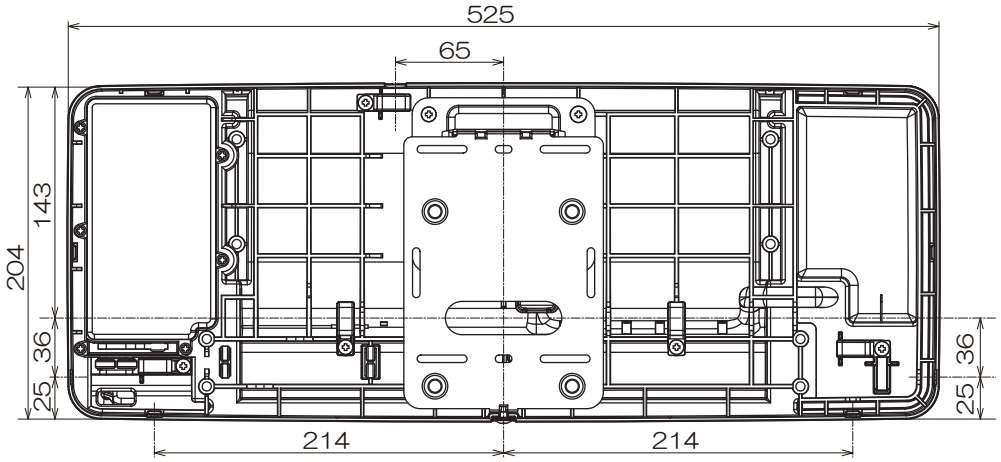
■既存の排気扇ダクト先端にパイプフードの防虫網付(細目)を使用している場合は、網を取り除いてください。

外形寸法と各部の名称

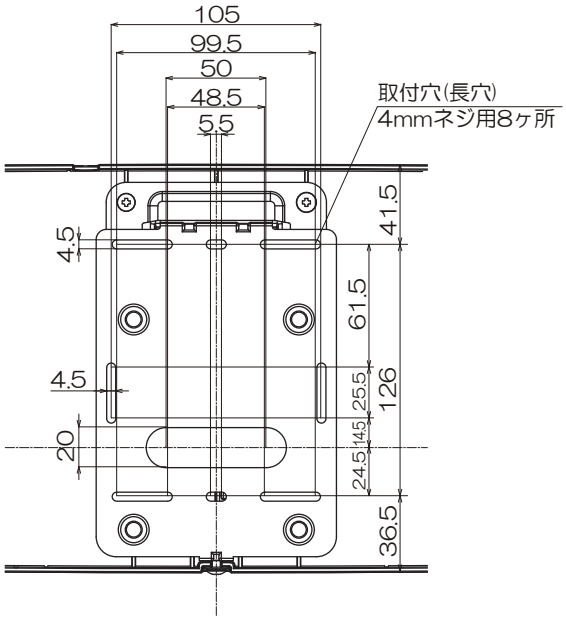
■本体





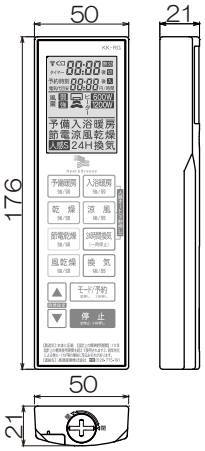


■取付穴寸法

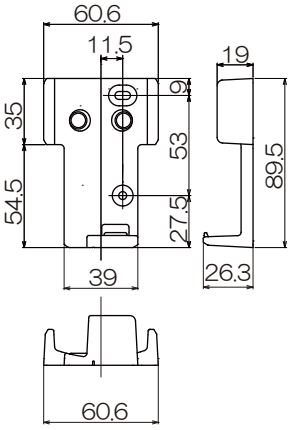


■リモコン寸法図

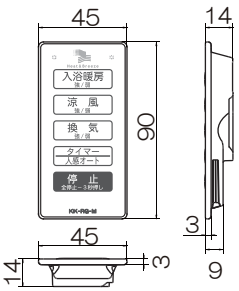
■リモコン
KK-RG



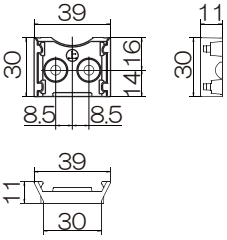
■リモコンホルダー



■サブリモコン(オプション)
KK-RG-M



■リモコンホルダー



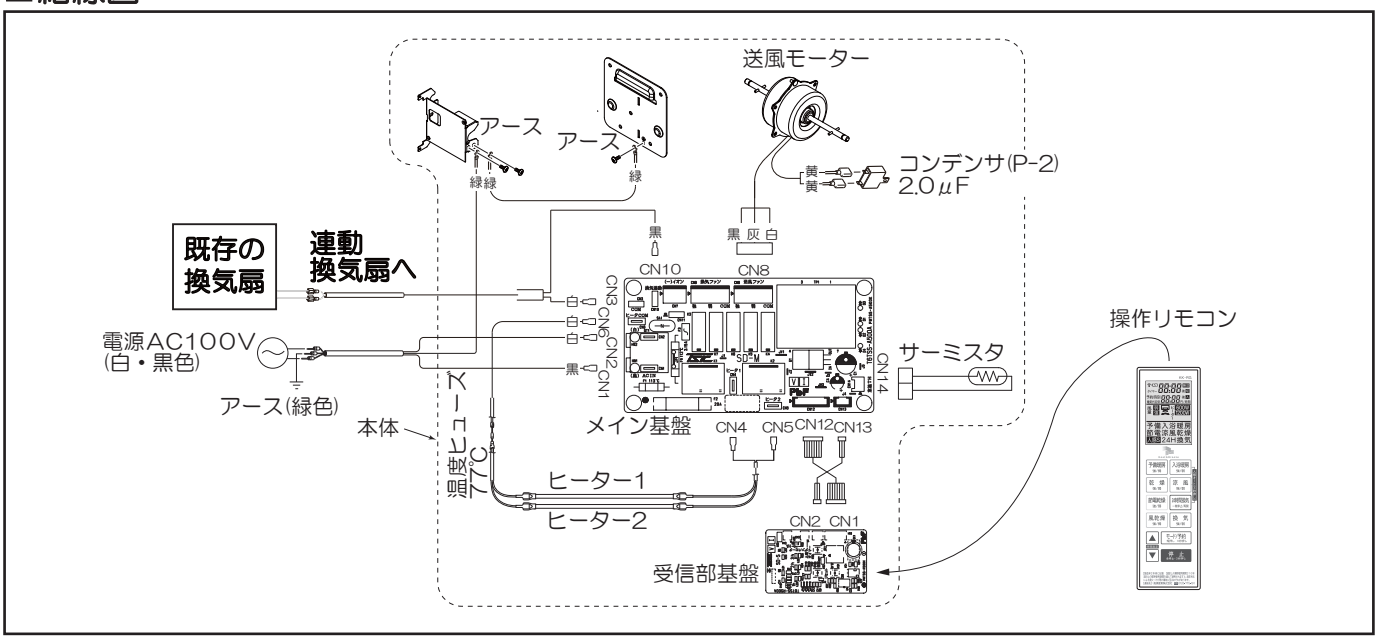
■同梱部品(必ず確認してから工事してください)

本体	標準リモコン（付属品） ●リモコンホルダー 取付ねじ付 4×30・・・2本	本体取付ねじ 4×32 ・・・4本
		取扱説明書 ・・・・1冊
		工事説明書 ・・・・1冊
取付ベース板	●単4形乾電池・・2本 ●落下防止ボールチェーン ・・1本 (60cm) ●電源接続用 クランプコネクタ ・・3個	カンタンリモコンガイド 1枚
		所有者票 ・・・・・1枚
		個人情報保護シール 1枚

■オプション

サブリモコン 型式：KK-RG-M	ランドリーパイプ 型式：LP-S1800T-2

■結線図



■現場で用意してください

配線コード	VVFケーブルφ1.6/2.0	適量	
漏電ブレーカー	過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速型		分電盤にあればよい
アース線	銅線Φ直径1.6以上	適量	アース工事用
アース棒		適宜	
取付補強材		適量	製品を直付けする場合
ランドリーパイプ	オプション品番：LP-S1800T-2	1本	衣類乾燥を行う場合

1. 取り付け前の準備

お願い

■本体設置工事と電気工事が異なる場合、工事説明書(本書)及び関連部品を確実に電気工事者様へお渡しください。
■本体の取付に際して、壁面が十分に強度のあることを確認してください。
■下図の寸法は推奨位置ですが、浴室・建物の構造条件に応じて取付方向・位置を検討ください。

1.機器を設置する壁は浴室内壁面であること。

●壁の種類　◎・タイル張り　・石膏ボード(アンカー取付設置)
△・樹脂製壁(必要に応じて補強してください)　・土壁(必要に応じて補強してください)

2.取付可能な寸法の確認

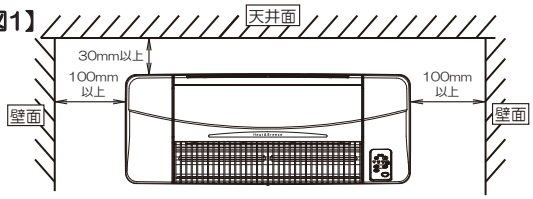
天井面から30mm以上、両側壁面から100mm以上離して取り付けできることを確認してください。
(図1、2参照)

(天井面や壁面からのスペースを確保できない場合は、性能を十分に発揮できなかったり、浴室壁面、造営物を熱によりいためることがあります。)

●製品天面から天井面まで、30mm以上
●製品左側面から壁面まで、100mm以上
●製品右側面から壁面まで、100mm以上
●ヒーターから造営物まで、500mm以上

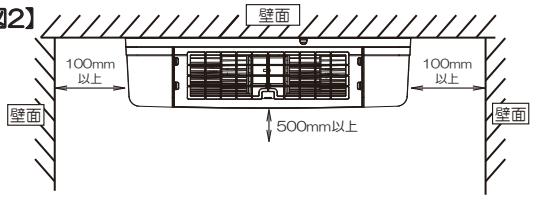
※下方向の窓枠に突起物がある場合、変形・変色するおそれがありますのでオプションの温風ガード(品番：RD-HG-1)を取付てください。(施工後の試運転時、必ず確認してください。)

【図1】



【正面から見た図】

【図2】



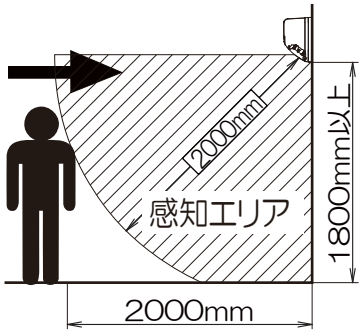
【上から見た図】

①本体取付位置を決める

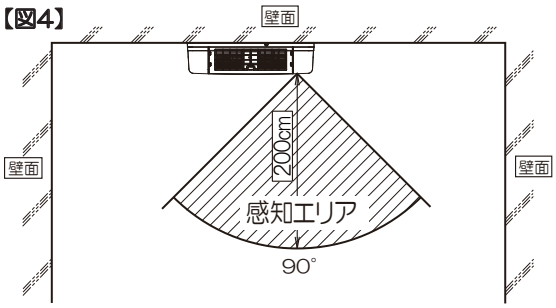
①設置場所はお客様と相談し決定してください。
②取付目安
●下図の設置例(図5、6)及び感知エリア（図3、4)を参考にして取付位置を選定してください。

【人感センサー感知エリア目安】

【図3】



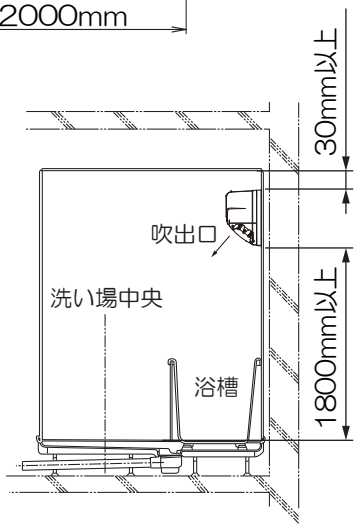
【図4】



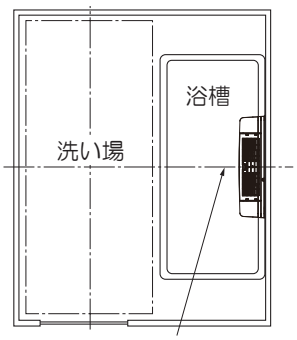
上から見た図

【設置例】

【図5】



【図6】



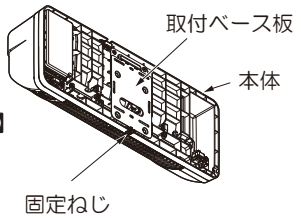
浴槽側に取り付ける。

1. 取り付け前の準備 (つづき)

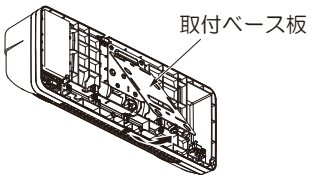
3.製品から取付ベース板を外す。

本体下部の固定ねじ１本をゆるめ、
取付ベース板を本体から外す。
(図7・8参照)

【図7】



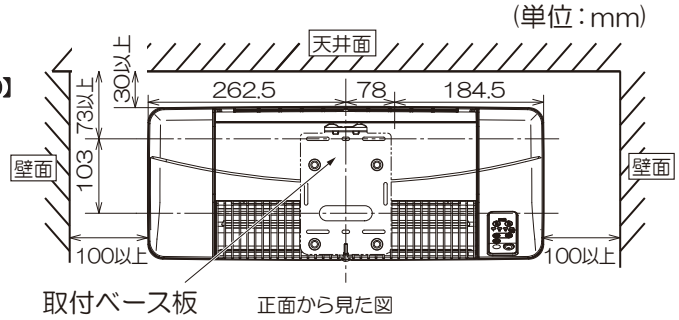
【図8】



4.取付ベース板の取付位置を決める。

(図9参照)

【図9】

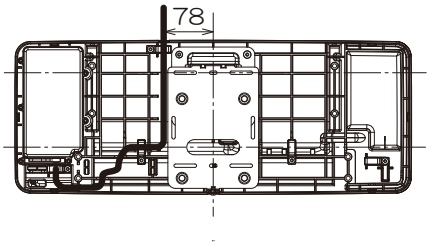


5.電源コード取出口の設定

(図10・11参照)

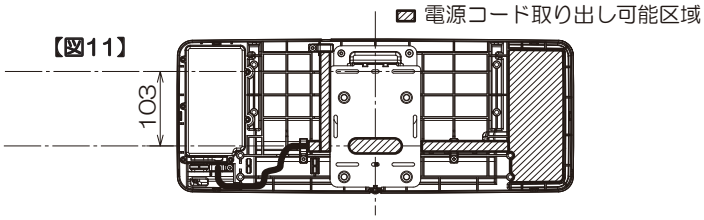
【電源コードを天井裏へ取り出す場合】

【図10】



【電源コードを外壁へ取り出す場合】

【図11】



お願い 壁打ちセンサー等を使用して間柱・筋交いがないか確認してから作業をする。

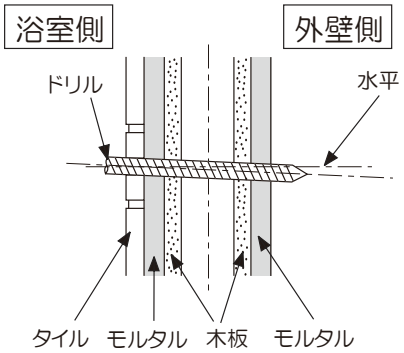
6.電源コード通し穴位置と本体取付板ねじ穴位置(4か所)を壁にけがく。

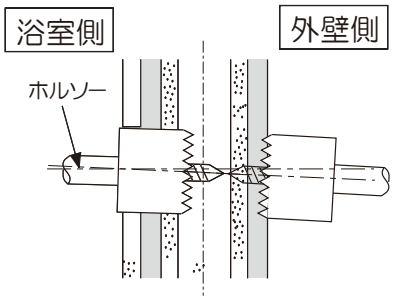
下穴をあける前に本体取付板をけがいた穴位置に合わせ、水準器を使用して水平度を再度確認する。

7.本体取付板のねじ穴をけがいたところに下穴をあける。(浴室内から外壁に向かって1/50～1/100の下り勾配で穴をあける)

ロングドリルを使用して、下穴をあける。
浴室の内・外壁の現状確認を行い、タイル・壁等が損傷している場合には、お客様に説明し、了解を得ておくか、事前に補修を行う。

- ●タイルやタイル目地での下穴あけについては、タイルを破損しないよう十分注意する。
- ●ねじ締め前に下穴の周囲にシリコンを塗布する。





⚠警告	❗	メタルラス張り・ワイヤラス張り・または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス・ワイヤラス金属板とが電気的に接触しないよう取り付ける。 漏電した場合発火することがあります。

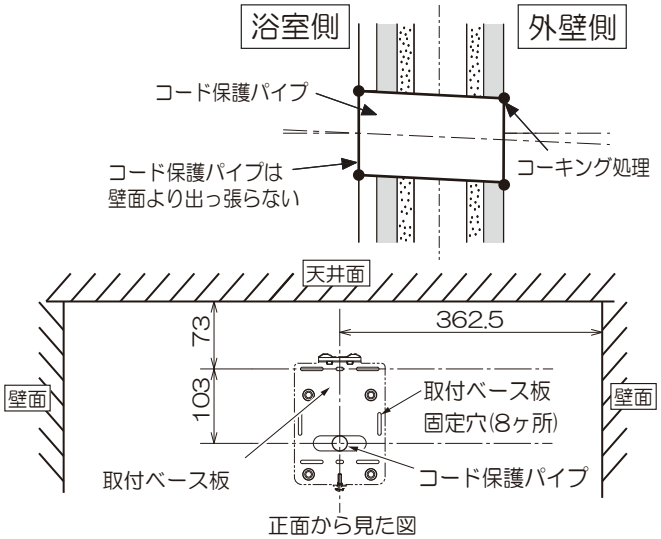
1. 取り付け前の準備 (つづき)

8.コード保護パイプ外形穴をあける。

内径 φ15以上の保護パイプの外形穴をあける。

●壁材質によって、ホルソーを選定してください。

(参考)
タイル・モルタル・・・・ダイアモンド
木板・・・・・・・・・・・・・・木工用
塩ビ鋼板・・・・・・・・・・・・板金用



9.コード保護パイプを取り付ける。

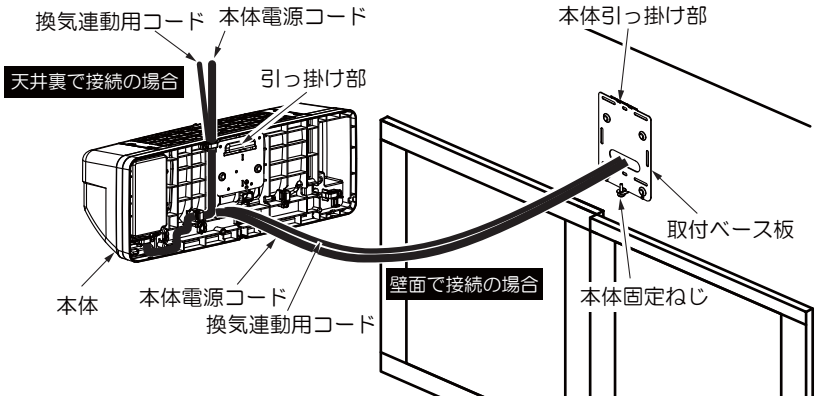
10.取付ベース板を取り付ける。

付属の取付ねじ4本を使って、取付ベース板を堅固に、また確実に取り付けてください。

2. 本体の取り付け

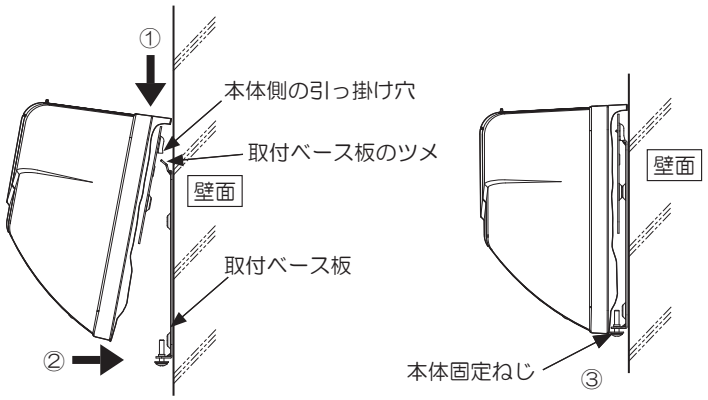
1.取付ベース板に、本体電源コードおよび換気連動用コードを通す。

※ここでは壁面へ電源コードを取り出す場合を説明しています。



2.本体を取り付ける。

本体側の引っ掛け穴を取付ベース板のツメに引っ掛け(①)、電源コードを押し込みながら、本体を壁側まで密着させ(②)本体固定ねじで固定する。(③)



⚠ 注　意

本体の取付工事は確実に行う
落下により、けがをする恐れがあります。

※注意事項

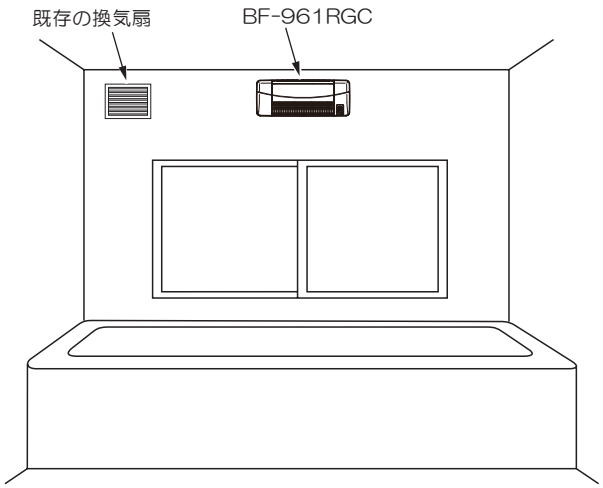
●本体ラベルと所有者票の「製造番号」が同じであることを確認してください。

●付属の所有者票を必ず所有者様か物件管理会社様にお渡しください。

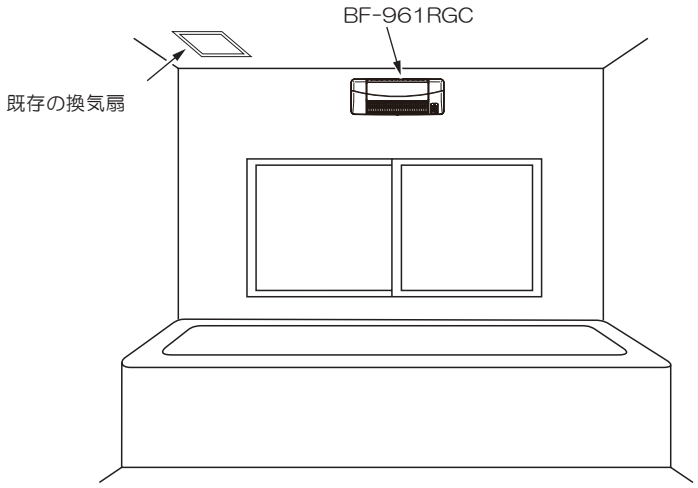
2. 本体の取り付け (つづき)

【取付状態】

既存の換気扇が壁面取付の場合



既存の換気扇が天井取付の場合



3. 電気工事

※配線工事・電源接続工事は、関連する法令・規定に従い、必ず「電気工事士」が行う

注意事項

■必ず電源ブレーカーを使用して、15A以上を確保できるようにしてください。
やむを得ず他の機器と共用する場合でも、同時に運転した際に許容範囲内であることを確認してください。
この場合は、点検の際に他の機器も電源を切ることになりますので、必ずお客様の確認を取って下さい。

■緑色リード線を必ずアース接続工事をしてください。(D種接地工事)

■アースを確実に取り付け漏電遮断器を設ける(分電盤にあればよい)

■分電盤等からの電源工事は必ず有資格者が作業を行ってください。

■配線コードはVVFφ1.6/2.0の2～3芯を使用してください。
細い芯線のコードを使用すると、発熱により発火のおそれがあります。

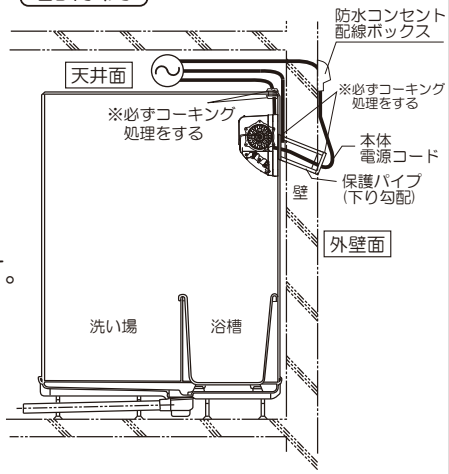
■端子の接続部は、絶対に濡らさないよう防水処理を行ってください。

■電源コンセントは、絶対に使用しないでください。

■電源は必ず単相交流100Vを使用して、確実に配線を行ってください。間違った電源を使用したり不十分な配線をすると、火災や故障の原因となります。

■本体の電源接続は、浴室内で絶対に行わないでください。
感電や火災の原因になります。

配線例

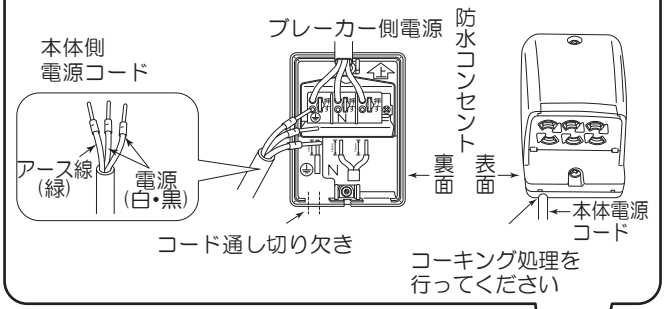


3. 電気工事 (つづき)

【電源の接続】 外壁側の場合

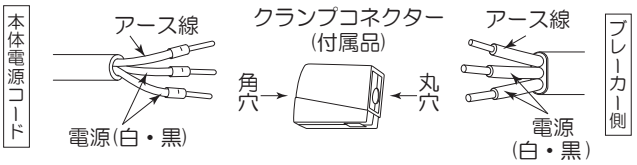
【防水コンセントに接続する場合】

●本体電源コードに付いている棒端子を直接防水コンセント裏側の速結端子台に接続してください。
●本体電源コード部分にはコーキング処理を行ってください。

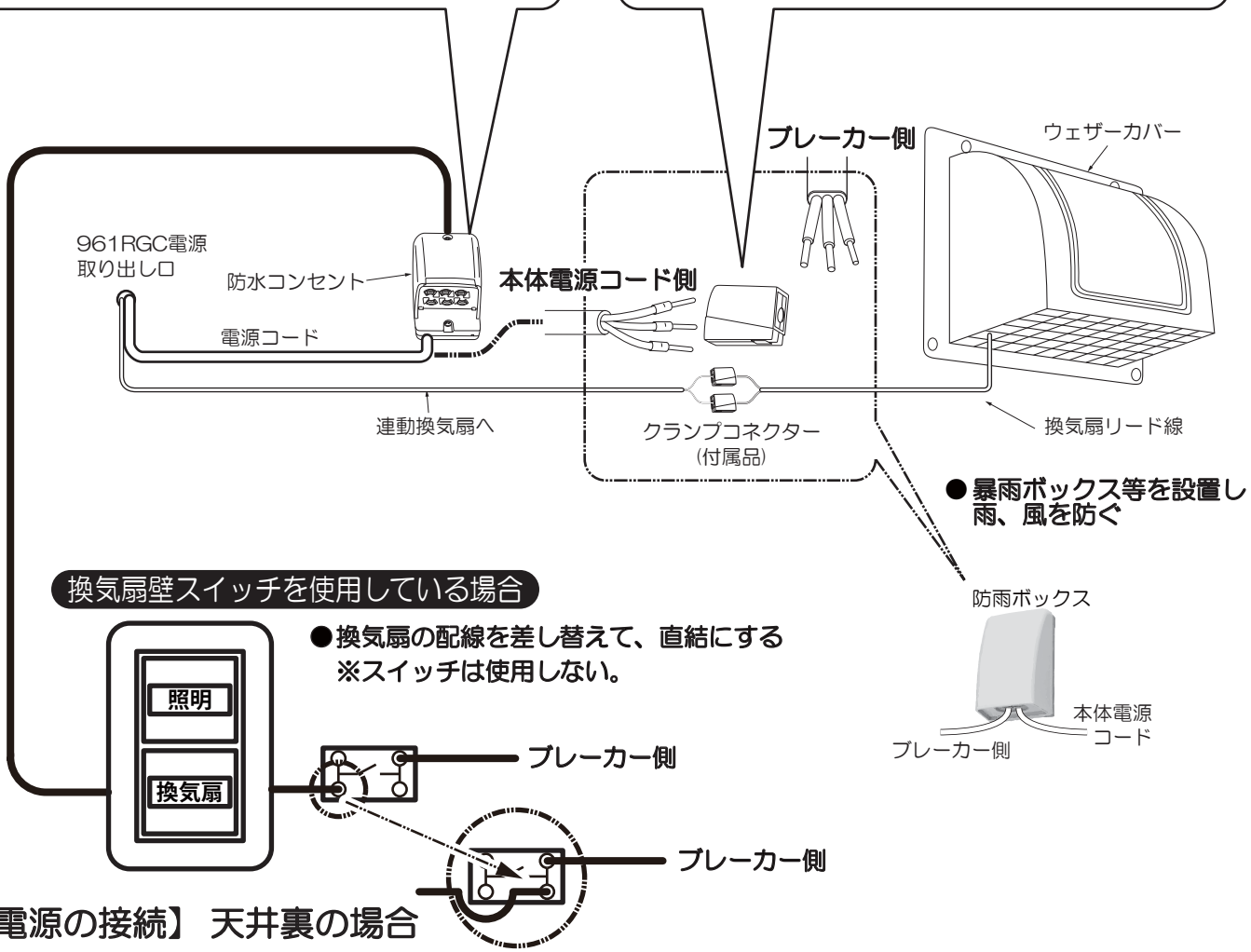


【コード同士を接続する場合】

●棒端子は十分に奥まで差し込んでください。
●屋外でのコード同士の結線については適切な防水処理を行ってください。
(防雨ジョイントボックスを使用するなど)



付属のクランプコネクター(3個)を使用して接続してください。(市販品の同等接続コネクタ可)



換気扇壁スイッチを使用している場合

●換気扇の配線を差し替えて、直結にする
※スイッチは使用しない。

【電源の接続】 天井裏の場合

●コード同士を接続する場合を参照して接続を行ってください。

⚠ 警告	禁止 **本体電源コードおよび棒端子は絶対に切断しない** 漏電・感電や火災のおそれがあります。
	禁止 **配線コードにより線は絶対に使用しない** 漏電・感電や火災のおそれがあります。
	注意 **配線工事は電気設備基準や内線規程に従って行う** 漏電・感電や火災のおそれがあります。
	禁止 **コンセントプラグおよび換気扇用のスイッチは絶対に使用しない** 漏電・感電や火災のおそれがあります。

4. リモコンの取り付け

1. リモコンの取り付け位置を決める

※取付位置はお客様とご相談のうえ、決定してください

浴室外設置の場合

●浴室のドアを開け、本体受信部に向けて無理なく操作できる位置に設置してください。

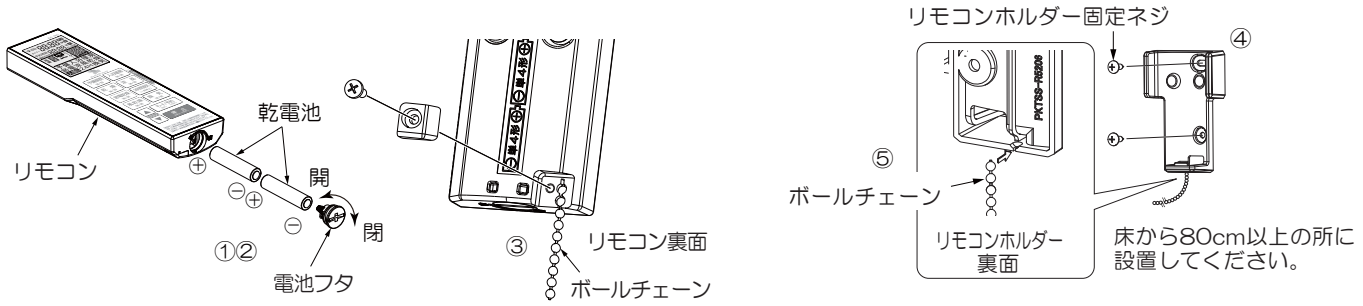
浴室内設置の場合

●シャワーなどのかかりにくい場所に設置してください。
●浴槽の上は避けてください。
●製品を取り付けている壁面は避けてください。

2. リモコンの取り付け

①リモコン底部の電池フタをドライバーやコインなどで回しフタを開ける。
②リモコンに付属の単四形乾電池2本を ⊕⊖ 正しく入れ、電池フタをドライバーやコインなどで電池フタを閉める。
③リモコンホルダー裏面のミゾに、落下防止ボールチェーンを差し込む。
④リモコンホルダーを付属の固定ねじ2本で固定する。
⑤リモコン裏面のネジを外し、ボールチェーンをミゾに差し込みカバーをネジで固定する。
※リモコンホルダーは浴槽より80cm以上の高さの所に付ける。
⑥リモコンをリモコンホルダーに差し込む。

【乾電池挿入方法】　【リモコンにボールチェーン取付方法】　【ホルダーにボールチェーン取付方法】

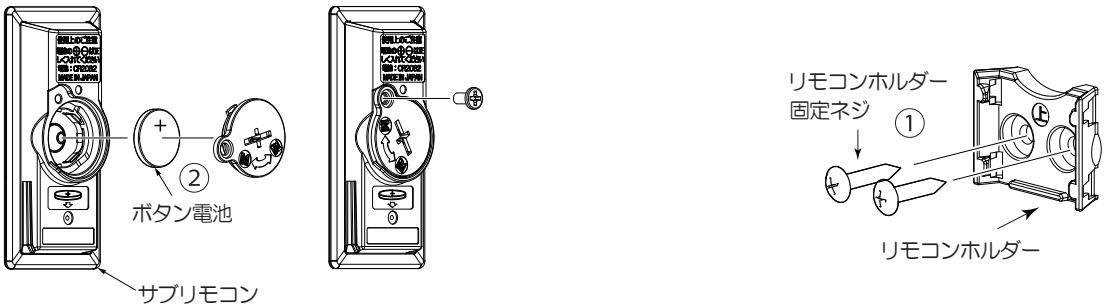


【オプション】

サブリモコンの取り付け（浴室内への設置も可能です。注意事項は 浴室内設置の場合 を参照してください）

①リモコンホルダーを付属の固定ねじ2本で固定する。
※リモコンホルダーは浴槽より80cm以上の高さの所に付ける。
②サブリモコンに付属のボタン型電池を ⊕⊖ 正しく入れる。
③サブリモコンをリモコンホルダーに差し込む。

【乾電池挿入方法】　【ホルダー取付方法】



お願い　設置工事が終わりましたら、取付状態はしっかりしているか、電気配線・アース接続・リモコン取り付けなどに誤りはないか再確認してください。

5.試運転

工事が完了したら、電源を入れる前に本体電源コードが定格電圧(AC100V)のブレーカーに接続されていることを確認し、「取扱説明書」の“運転のしかた”を参照しながら各モードを試運転をしてください。

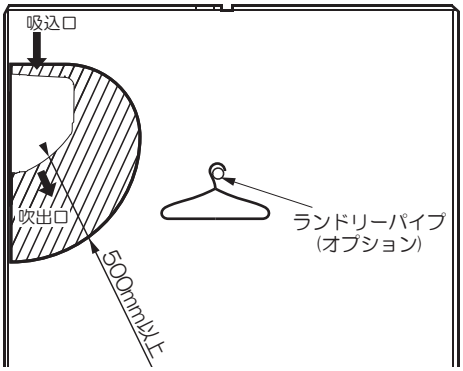
①予備暖房運転
②入浴暖房運転
③乾燥運転
④節電乾燥運転
⑤風乾燥運転
⑥涼風運転
⑦24時間換気運転
⑧換気運転

6.ランドリーパイプの取り付け (オプション)

洗濯物を干したとき、本体の吹出口から、500mm以上確保できるようにランドリーパイプを取り付けてください。

※近づけすぎると火災や故障、衣類の変色や変質の原因になります。

●ランドリーパイプを購入されるときは必ず1本当たり10kg以上の重量に耐える不燃性と耐久性の品物を選んで取り付けてください。
●ランドリーパイプの取り付けは、充分強度が得られるように補強等を確実に行ってください。
●ランドリーパイプの取付位置や温度・湿度条件により乾燥時間は変動します。



7. 異常表示

本体受信部に以下の様なエラーサインが表示された時は電源を切り、お買い上げの販売事業者へ連絡してください。

【異常表示】

「異常」と判定して停止する状態は、下表の通りです。

エラー要因	説明	LED表示1※1	LED表示2	LED点滅	動作
室温サーミスタ異常 ※2	室温サーミスタ短絡/断線	強 & 弱	送風 & 換気	0.25秒	停止
室温異常 ※3	室温60℃以上	強 & 弱	送風 & 感知表示	0.25秒	停止
受信基盤通信異常	通信線短絡/断線・ノイズ等	強 & 弱	人感オート	0.25秒	全停止※4
受信基板側EEPROM異常	読込み3回エラー	強 & 弱	感知表示	0.25秒	全停止※4
本体フラッシュメモリ異常	フラッシュメモリ異常	強 & 弱	送風	0.25秒	全停止※4
ヒータサーミスタ異常 ※5	ヒーターリレー発熱検出・サーミスタ短絡/断線	強 & 弱	換気 & 感知表示	0.25秒	運転不可
電源電圧異常 ※6	電源電圧低下/超過	強 & 弱	人感オート	1秒	停止

※1 LED表示1の強/弱LED点滅は、どのエラーでも0.25秒間隔です。
※2 室温サーミスタ異常、室温異常時は乾燥・暖房運転のみ運転不可となり、他モードの運転は可能です。
※3 室温異常は60℃以上検出でエラー表示が出ますが、室温55℃以下に下がった時点で自動復帰します。
※4 全停止のエラーはリセット操作(停止SW長押し10秒)でエラー表示を消す事が出来ますが、リセット後もエラー状態を検出した場合は再度エラー表示します。
※5 ヒーターリレー発熱検出時、運転が停止しますがヒーター冷却のための「送風ファン」は、強制的にON状態を継続します。
また、ヒーターリレー発熱検出時もサーミスタ短絡/断線のどちらの場合も、エラー検出後は停止SW長押しでのリセット操作は不可となり、AC電源供給をOFFしないと異常表示を解除できなくなります。
※6 電圧低下異常時は、電圧が正常値に戻った場合は自動復帰します。
電圧超過異常時は、基板にダメージが残った可能性がありますので復帰できません。

8.各種設定変更のしかた

■オプション設定操作方法

起動条件：停止モードでのみ起動可能です。(停止3秒長押しで、全停止してください。)

① ▲ ＋ 停止（全停止-3秒押し） ボタン同時3秒押しで設定変更画面になります。
（上段に“OP:1”が表示、下段に初期設定値“1”が表示されます。）

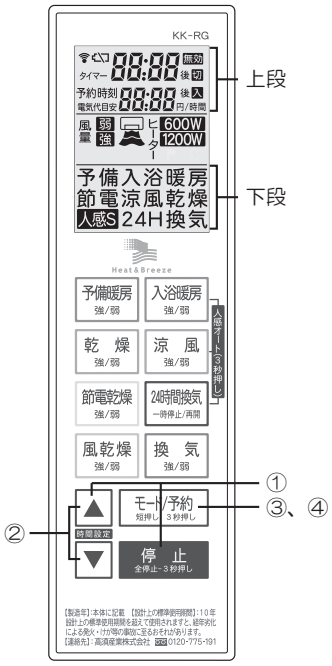
② ▲ / ▼ ボタンで設定値を変更できます。

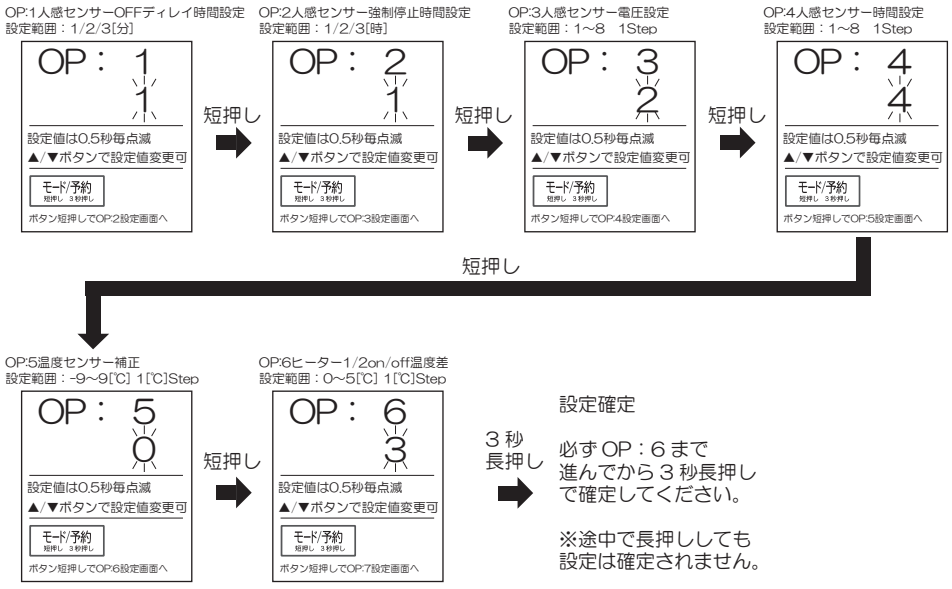
③ モード/予約（短押し 3秒押し） ボタン押すごとに上段“OP：1”～“OP：6”が切り替わります。

④ モード/予約（短押し 3秒押し） 3秒押しで設定が確定されます。
途中“OP：3”等で モード/予約（短押し 3秒押し） ボタンを3秒押ししても 無効 となり、設定は確定されません。
必ず “OP：6” まで設定してはじめて確定が有効になります。
操作途中30秒間ボタン操作がない場合か、停止（全停止-3秒押し） ボタンを短押しすることにより変更前に戻ります。

オプション設定一覧　　：初期値

項目NO.	項目	単位	設定データ範囲 表示データ / 設定データ範囲								液晶表示 上段 / 下段
1	人感センサーOFFディレイ時間	分	1	2	3						OP：1
			1	2	3						×
2	人感センサー強制停止時間	時間	1	2	3						OP：2
			1	2	3						×
3	人感センサー電圧設定	dig	1	2	3	4	5	6	7	8	OP：3
			30	50	70	90	110	130	150	170	×
4	人感センサー時間設定	秒	1	2	3	4	5	6	7	8	OP：4
			0.4	0.8	1.2	1.6	2	2.4	2.8	3.2	×
5	温度センサー補正	℃	-9	-8	-7	・・・	0	・・・	8	9	OP：5
			-9	-8	-7	・・・	0	・・・	8	9	×
6	ヒーター1/2 on/off温度差	℃	0	1	2	3	4	5			OP：6
			0	1	2	3	4	5			×





9.各種設定変更のしかた（つづき）

■現在時刻設定操作方法

取扱説明書を参照し、設定してください。

■同機種を2台設置した場合のリモコンチャンネル設定変更のしかた

①電池投入し液晶表示点滅終了後30秒以内に②の操作をおこなう。

②▲SW + ▼SW + 停止SW同時押し3秒すると
上段表示部に“SEt”を表示、下段表示部111が表示します。

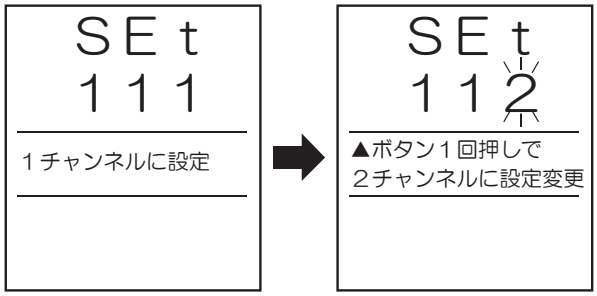
③▲SWを1回押し、112に変更。

④リモコンを本体に向けモード/予約SWを長押し3秒で確定します。

・30秒間無操作で、元の状態に戻ります。

・途中で設定を中止する場合、停止SWを押せば元の状態に戻ります。

【BF-961RGC】



■浴室内の温度を上げるとき、下げるときの設定変更のしかた

①モードSW + 入浴暖房SW同時押し3秒すると
上段表示部に“ondo”を表示、下段表示部に“45”が表示します。

②▲SWで1℃単位で上昇し最大50℃まで設定可能です。
▼SWで1℃単位で下降し最小30℃まで設定可能です。

③リモコンを本体に向けモード/予約SWを長押し3秒で確定します。

・30秒間無操作で、元の状態に戻ります。
・途中で設定を中止する場合、停止SWを押せば元の状態に戻ります。

高須産業株式会社
TSK 換気システム
本社／〒311-2404 茨城県潮来市水原3080
TEL 0299-67-5151 FAX 0299-67-5120
ホームページアドレス https://www.takasu-tsk.com
メールアドレス info@takasu-tsk.com